

# 未来会議だより

令和6年11月1日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(Tel.711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議 検索



--令和6年10月9日(水)--

## たまねぎに交通安全の願い込め、 街頭啓発



この日、地下鉄栄町駅交差点で「第39回交通安全たまねぎキャンペーン」が開催されました。これは、東区特産のたまねぎに交通安全の願いを込めて、通行車両の運転手や歩行者に配布する街頭啓発です。

昭和61年、たまねぎ農家だった当時の連合町内会交通部長の氏家謹一さんの発案で開始し、今は、お孫さんの氏家正喜さんがその遺志を受け継ぎ、丹精込めてつくったたまねぎを寄付していただい

ています。この事業が継続できるのも、こうした協力があってこそです。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

朝、日の丸会館に届けられたたまねぎは、栄東連合町内会役員13名が、交通安全を願うメッセージカードを添えてビニール袋に詰め、約700袋余りを作成しまし



▲袋詰めも手慣れた作業

た。午後、地下鉄栄町駅交差点に交通安全母の会、交通安全指導員、交通安全協会、単位町内会、連合町内会などのメンバー約50名が集合し、中澤・東区長をはじめ区職員、東警察署の楠・署長をはじめ警察官も交じって、たまねぎを配布しました。

キャンペーン終了後は、日の丸会館に集合して、東警察署交通第一課の大柳謙児・係長の交通安全講話がありました。最近の交通死亡事故の状況や道交法の改正の動きなどを聞き、さらに交通安全活動の重要性に思いを新たにしていました。



▲熱心に講話を聞く参加者の皆さん

--令和6年10月1日(火)・2日(水)--

## 優しさで福祉を応援。



## 赤い羽根街頭募金



▲栄東地区民生委員・児童委員協議会の皆さん

10月1日から赤い羽根共同募金が全国一斉で始まり、栄東地区でも街頭募金が行われました。ホクレンショップ北49条店では、1日に栄東地区民生委員・児童委員協議会の9名、イオン栄町店前では、1日に日の丸クラブ(老人クラブ)の6名、2日に栄町団地幸友会(老人クラブ)の5名が街頭募

金を実施し、通行人や買い物客に募金の協力を呼びかけました。東区共同募金会事務局からも激励に訪れていました。

この2日間、3団体が街頭募金を実施しましたが、合計37,787円の浄財が集まりました。町内会などの戸別募金も実施しており、集まった募金は高齢者や児童福祉など札幌市内はもとより道内の福祉の充実にあてられます。栄東地区民生委員児童委員協議会、日の丸クラブ、栄町団地幸友会の皆さま、ありがとうございました。



▲栄町団地幸友会の皆さん



▲日の丸クラブの皆さん

--令和6年10月6日(日)--

## 地域安全は住民の手で。

### 栄南小で避難所運営訓練



この日、栄南小学校で栄東地区などの住民120名が参加して、実践的な避難所運営訓練が開催されました。これは、北海道胆振東部地震の教訓を生かし、万一の大災害時に住民が自ら避難所を開き、運営できるようにと栄東連合町内会防火防犯部（中谷暁生・部長）が毎年、企画実施しているものです。

今回が、栄町小、栄小に引き続き3回目です。毎年、避難所を設営する分区を変え、栄南小は、第2分区が担当します。分区の42名の単位町内会役員、連町役員が集合し、大災害で市の職員が参集できないことを想定し、避難所を設置するところから開始です。42名は、受付班、避難スペース班、備蓄物資班（給食班兼務）の3つに分かれ、準備します。1時間後には、第1・3・4分区や丘珠地区の町内会の皆さん

が避難し、迅速に受付し、体育館の避難スペースを割り振ります。被災当初は、スペースに仕切りもなく、冷たい床の上で避難生活を送ることになります。こうした環境の中で、それぞれの家庭での備蓄などの大切さを実感してもらいます。

避難スペースを体験した後は2つのグループで避難所を見学します。1つのグループは、体育館で備蓄物資の重さや毛布、寝袋に実際に触れてもらい、備蓄物資などの説明を聞きました。もう1つのグループは、学校のトイレの状況、高齢者や障がいのある方、妊婦や授乳中の方の避難スペース、採暖室、救護室、発熱者用の部屋などを見学、避難生活をイメージしてもらいます。次に、入れ替わって同様の流れでそれぞれ体験します。



▲各スペースを実際に見て回る様子

最後は、栄緑緑地に移動し、水道局の職員から地下にある緊急貯水槽の説明を受けました。1人3ℓとして3日間分、1万人分の水を貯水しているという貯水槽から実際に給水を受ける体験も行いました。



▲6ℓの非常用給水袋は、背負うこともできる

短時間のシミュレーション訓練ですが、こうした積み重ねが万一の災害時にも、自分事として安全を守る行動につながってくれることでしょう。

--令和6年10月16日(水)--

## 詐欺防止・健康づくりで

### 福まちふれあいお食事会

栄東地区福祉のまち推進センター（矢地奈津子・運営委員長）が、一人暮らし高齢者と福祉協力員の交流の場である「福まちふれあいお食事会」を日の丸会館で開催しました。今回は、スタッフ含めて109名が参加し、感染症予防対策の観点から、2部制で定員を半数ずつにして、お弁当持ち帰りで開催しました。

前半は、特殊詐欺の被害が増加していることから、警察庁制作の「STOP 詐欺被害」のビデオを上映し、自宅の電話に留守番電話設定したり、自動録音装置付きの迷惑電話



防止装置を設置したり、「自宅の電話にも鍵を掛けましょう」、「キャッシュカード、還付金などお金の話がでたら電話を切り、家族や警察に相談しましょう」と呼びかけました。



▲ストレッチで体をほぐす参加者

後半は、介護予防センターの職員の指導によるタッピー体操と早口言葉です。1時間余りのプログラム終了後は、スタッフがお弁当を配布してお開きです。お弁当には、スタッフからのメッセージが添えられ、会場を後にする皆さんに、主催者の優しい気持ちがあふいて伝わったことでしょう。



本日の  
お弁当



▲笑顔でお弁当を配布するスタッフ